



2012年2月期 決算説明資料

(2011年3月1日～2012年2月29日)

For the Year Ended February 29,2012

2012年4月9日

株式会社 **UCS**

UCS CO.,LTD.

Listed Company 8787



目次

I	2012年2月期事業概況	
	1. 主要数値実績	3 ページ
	2. 主要財務数値	4 ページ
	3. 財務ハイライト	5 ページ
	4. 部門別業績	6 ページ
	5. カード会員数と稼働率	7 ページ
	6. ショッピング	8 ページ
	7. ショッピングリボ、分割払い	9 ページ
	8. 融資	10 ページ
	9. その他	11 ページ
	10. 貸倒償却および引当金繰入	12 ページ
	11. 資金調達	13 ページ
II	中期経営計画と2013年2月期の取り組み	
	1. 今後の市場環境と自社の現状認識	15 ページ
	2. 中期経営計画	16 ページ
	3. 営業収益拡大	17 ページ
	4. 収益構造	18 ページ
	5. ローコスト経営	19 ページ
	6. 中期数値目標	20 ページ
	7. カードショッピング	21 ページ
	8. ショッピングリボ・分割、およびキャッシング	22 ページ
	9. 保険代理店事業	23 ページ
	10. WEB事業の育成	24 ページ
	11. 2013年2月期の営業費用	25 ページ
	12. 2013年2月期 業績予想と中期目標	26 ページ

I 2012年2月期事業概況

(2011/3/1～2012/2/29)

【トピックス】

- | | |
|----------|-------------------------------------------------------------|
| 2011年3月 | 東日本大震災
ロイヤルメンバー制度リニューアル |
| 2011年4月 | 株式会社中日ドラゴンズとの提携カード「UCSドラゴンズカード発行」 |
| 2011年10月 | 提携型保険ショップの開店
コーポレートサイトリニューアル。(http://www.ucscard.co.jp/) |
| 2011年11月 | 「UCSカルワザカード、WALKカード」更新発行を一般カードに切り替え |

1. 主要数値実績

		前期実績 (2011年2月期)	当期実績 (2012年2月期)	前期比	
				増減額	増減比
取扱高 Trading Volume	億円	4,337	4,607	+270	+ 6.2%
営業収益 Operating revenues	億円	172	164	△ 8	△ 4.8%
営業利益 Operating income	億円	18	32	+ 13	+76.2%
経常利益 Ordinary income	億円	18	32	+ 13	+76.0%
当期純利益 Net income	億円	10	17	+ 7	+70.9%
1株あたり 当期純利益 Net income per share	円	54.17	92.56	+ 38.39	

(数値は億円未満切捨て)

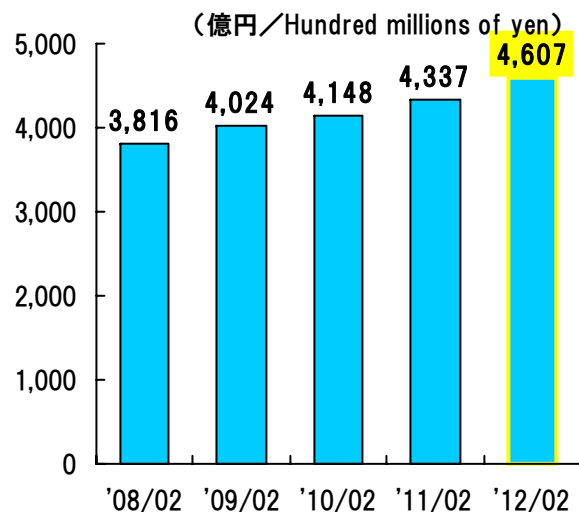
2. 主要財務数値

		前期末 (2011年2月期)	当期末 (2012年2月期)	前期末比	
				増減額	増減比
資本金 Common stock	億円	16	16	± 0	± 0%
総資産 Total assets	億円	1,061	1,050	△ 11	△1.0%
純資産 Total shareholders' equity	億円	166	181	+ 14	+8.7%
自己資本比率 Shareholders' equity ratio	%	15.7	17.3	+ 1.6	
1株あたり純資産 Shareholders' equity per share	円	886.21	963.74	+ 77.53	

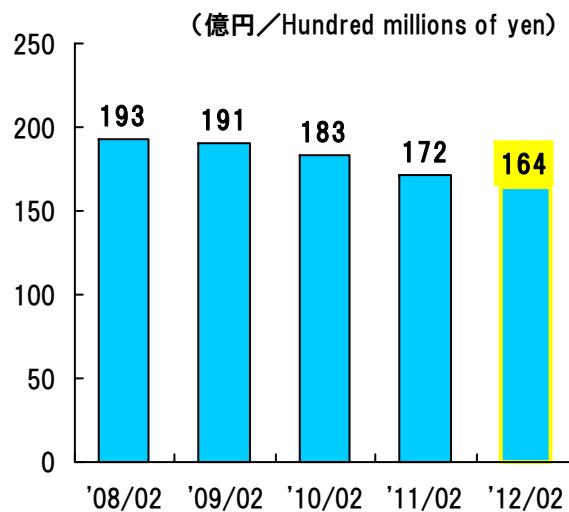
(数値は億円未満切捨て)

3. 財務ハイライト

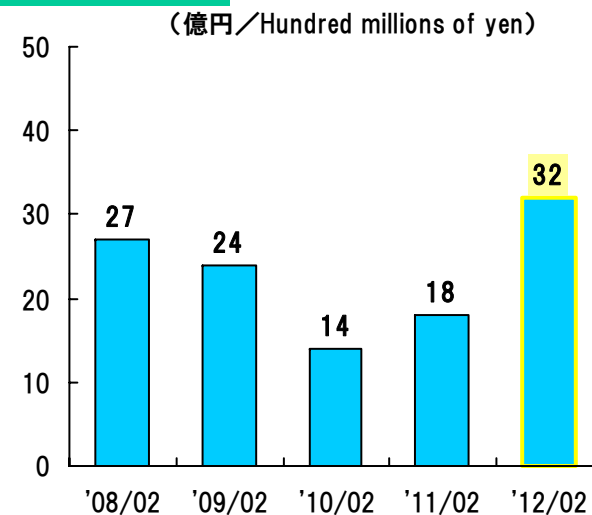
取扱高



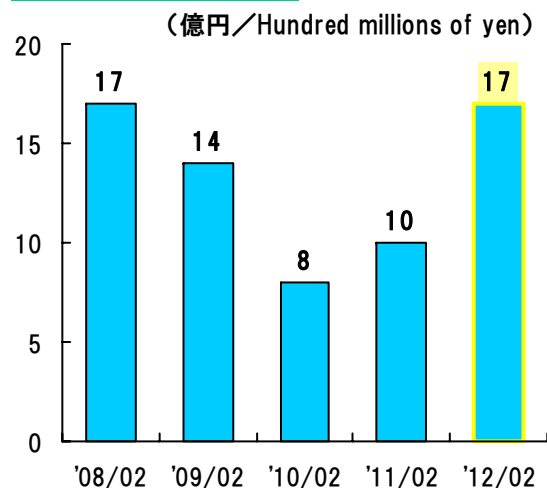
営業収益



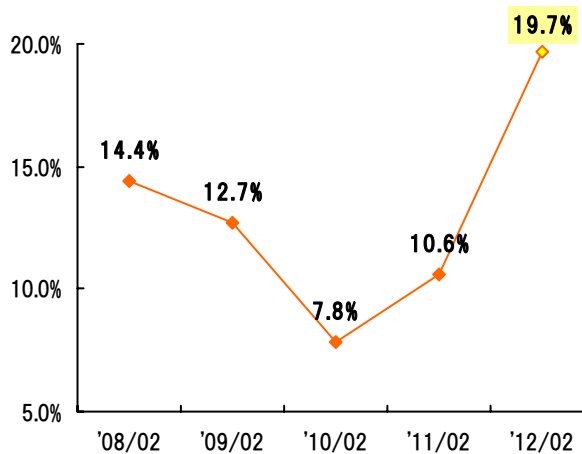
経常利益



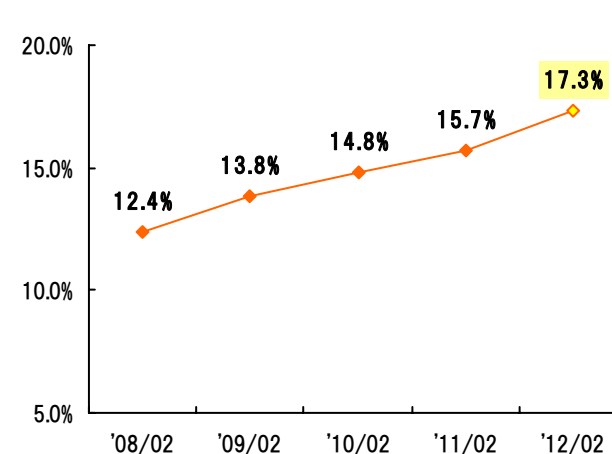
当期純利益



経常利益率



自己資本比率

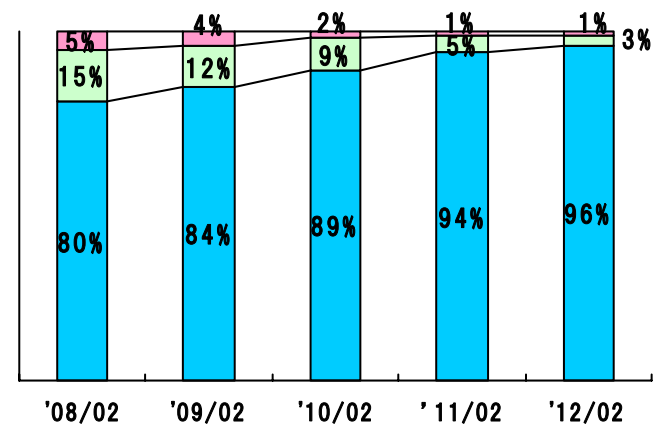


4. 部門別業績

取扱高 Trading volume

(億円/Hundred millions of yen)

	2011/02	2012/02	前期比増減率
包括信用購入あっせん Creditcard shopping	4,090	4,435	+ 8.4 %
融資 Loans	193	140	△ 27.0 %
その他 Others	53	31	△ 41.7 %
合計 Total trading volume	4,337	4,607	+ 6.2 %

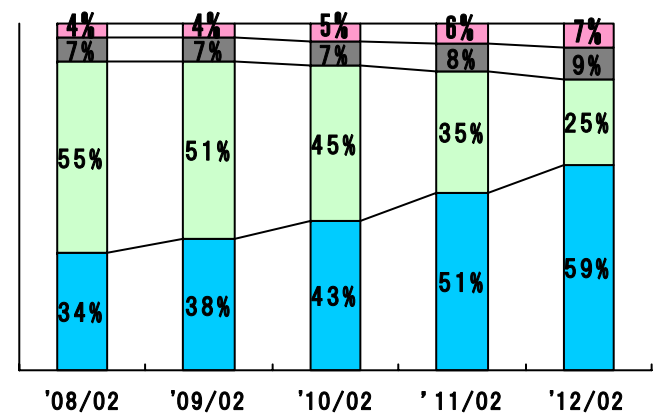


■ 包括信用購入あっせん □ 融資 □ その他

営業収益 Operating revenues

(億円/Hundred millions of yen)

部門	2011/02	2012/02	前期比増減率
包括信用購入あっせん Creditcard shopping	87	96	+ 10.4 %
融資 Loans	60	41	△ 31.9 %
保険 Insurance agent profit	14	14	+ 6.6 %
その他 Others	10	11	+ 8.9 %
合計 Total Operating revenues	172	164	△ 4.8 %



■ 包括信用購入あっせん □ 融資 □ 保険 □ その他

5. カード会員数と稼働率

【カード会員数】 **323万人** (前期末比 5万人純増)

- カード発行者数 13.8万人 (前期14.7万人)
- 退会者数 8.8万人 (前期 7.2万人)
- ドラゴンズカード 1.0万人 (2011年4月より発行開始)

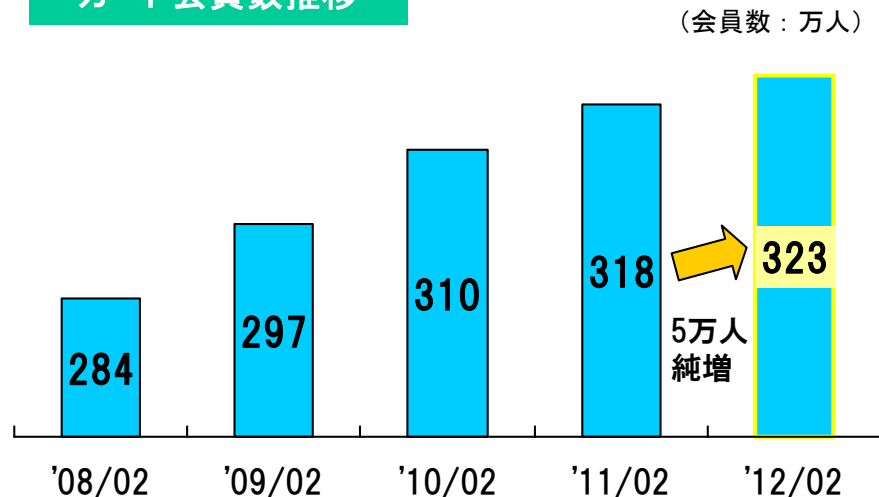


【稼働率】 月間 **36.6%** (前期比 +0.7%) / 年間 **54.2%**

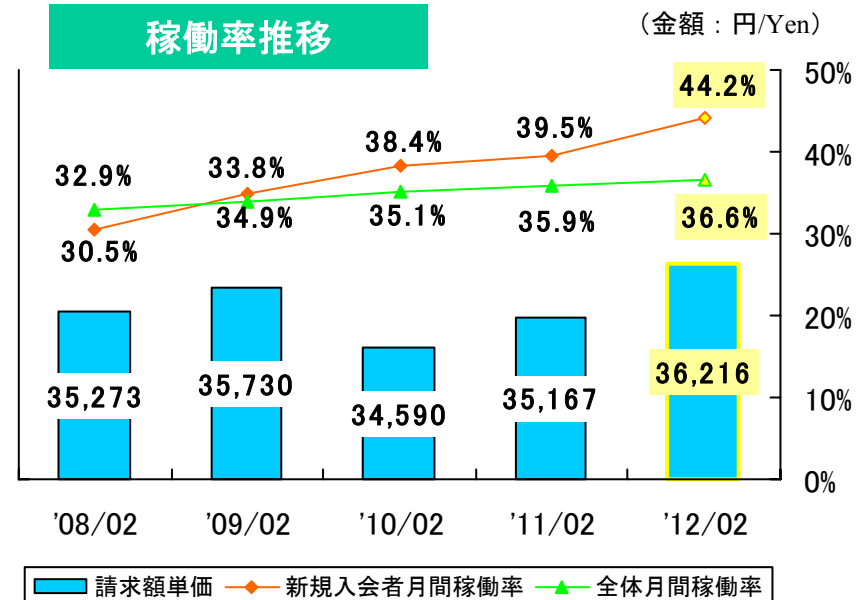
- 新規入会者月間稼働率 44.2% (前期比 +4.7%)
- 月間請求額 36,216円

稼働会員の獲得と既存会員に対するカード利用提案により、稼働率、請求額単価ともに好調に推移。

カード会員数推移



稼働率推移



6. ショッピング

【取扱高】 4,435億円 (前期比 + 8.4%)

ユニーグループ内 1,724億円 (前期比 + 2.9%)

ユニーグループ外 2,711億円 (前期比 + 12.3%)

【グループ内取扱高構成比】

39%

【グループ外取扱高構成比】

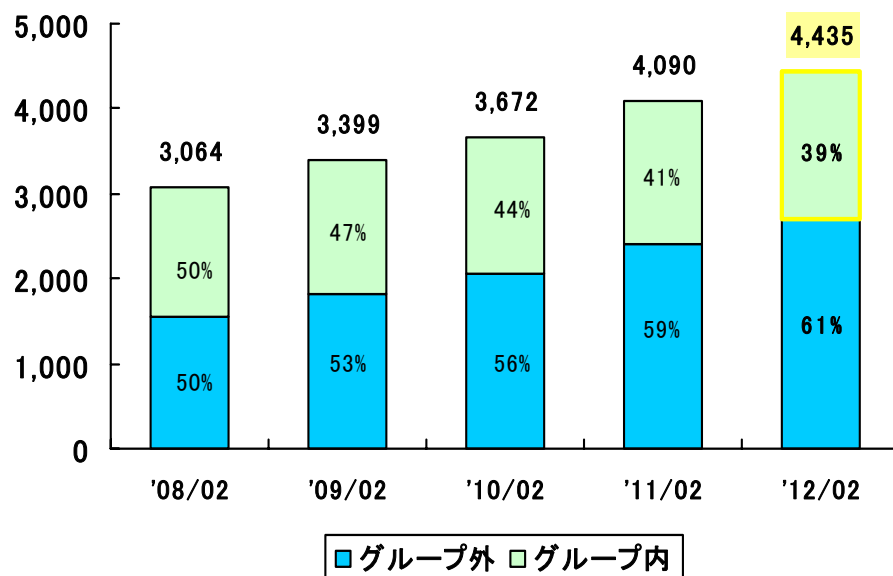
61%

【営業収益】 96億円 (前期比 + 10.4%)

東日本大震災、およびエコポイント終了の反動により、伸張率が鈍化。
収益面では、リボ・分割が好調に推移し、ショッピング全体では堅調に推移。

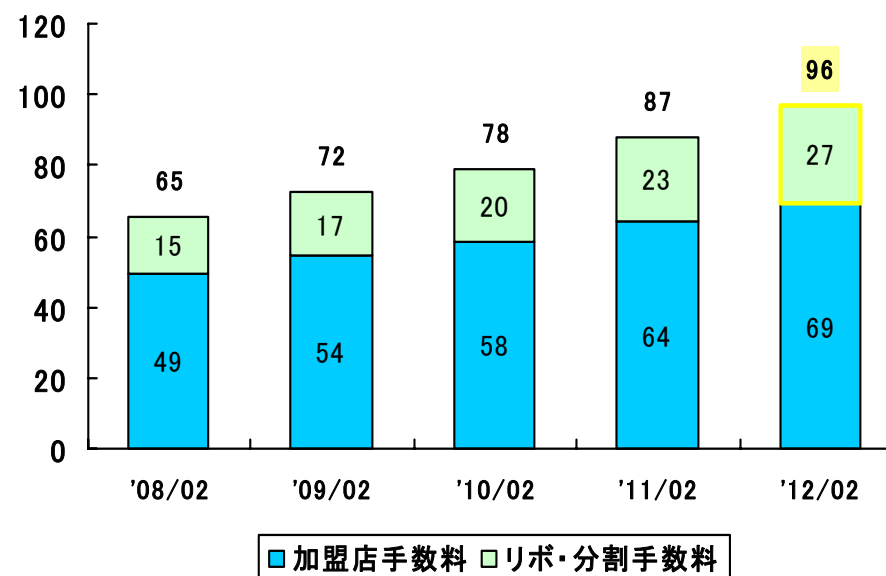
ショッピング取扱高の推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



ショッピング営業収益の推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



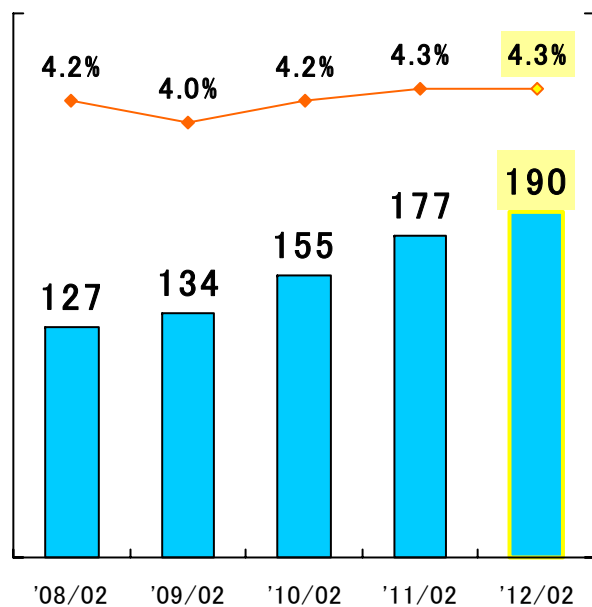
7. ショッピングリボ、分割払い

【取扱高】	190億円	(前期比	+ 7.2%)
【残高】	203億円	(前期末比	+12.2%)
【営業収益】	27億円	(前期比	+17.2%)

残高系商品の取扱高拡大により、残高・収益とも堅調に推移。

リボ・分割 取扱高・取扱構成比

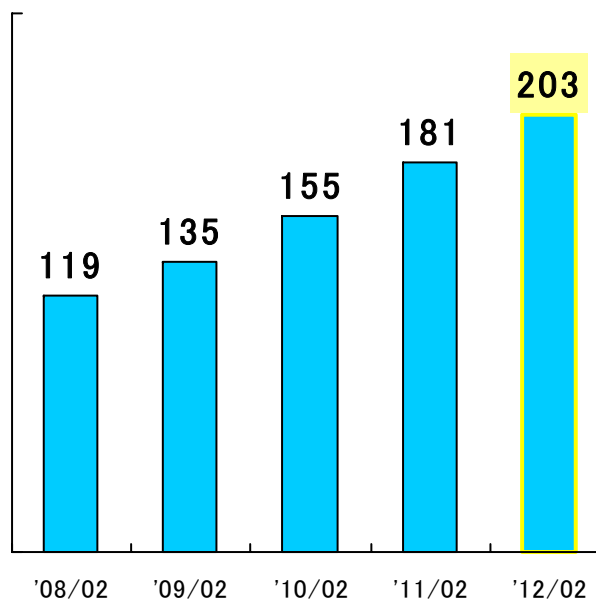
(金額：億円/Hundred millions of yen)



■ 取扱高 ◆ 全ショッピング中リボ分割取扱構成比

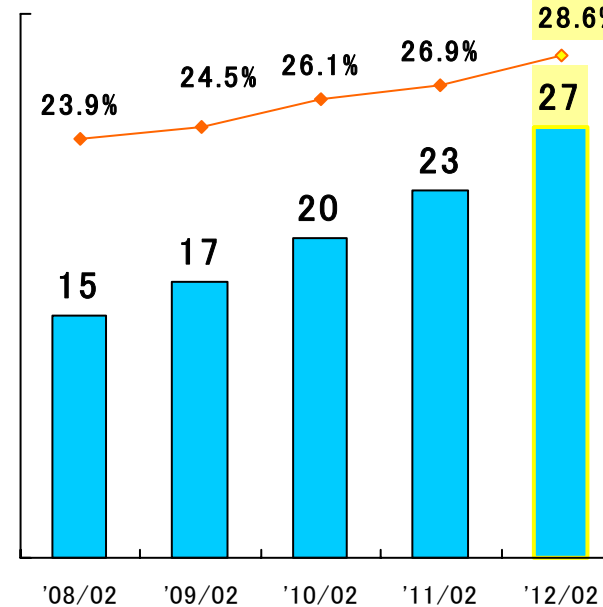
リボ・分割 残高

(金額：億円/Hundred millions of yen)



リボ・分割 営業収益・収益構成比

(金額：億円/Hundred millions of yen)



■ 収益 ◆ 全ショッピング中リボ分割収益構成比

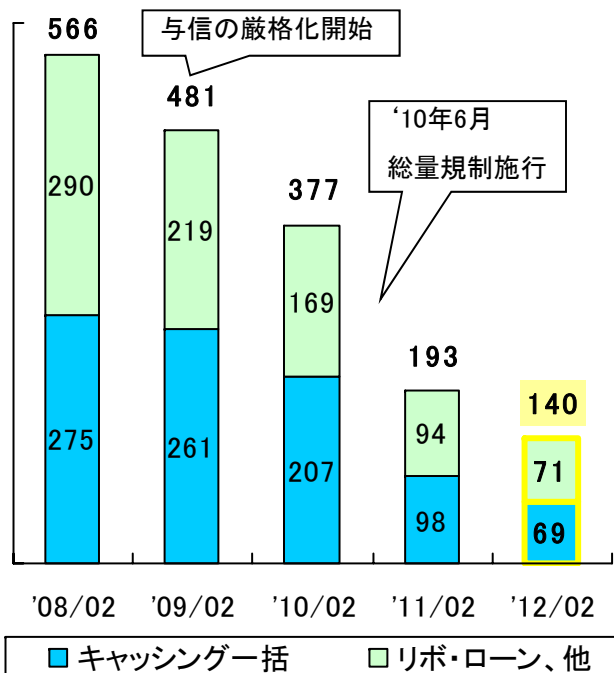
8. 融資

【取扱高】	140億円	(前期比	△27.0%)
【残高】	194億円	(前期末比	△27.3%)
【営業収益】	41億円	(前期比	△31.9%)

総量規制の施行後1年が経過。年収情報等の取得を進め、利用環境を整備。
 今後は、利用可能な会員の拡大と適正な与信管理を行い、残高減少の抑止を図る。

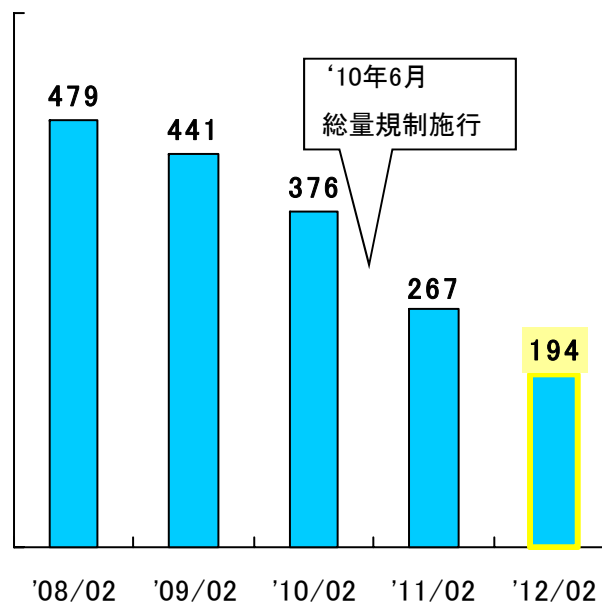
融資取扱高推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



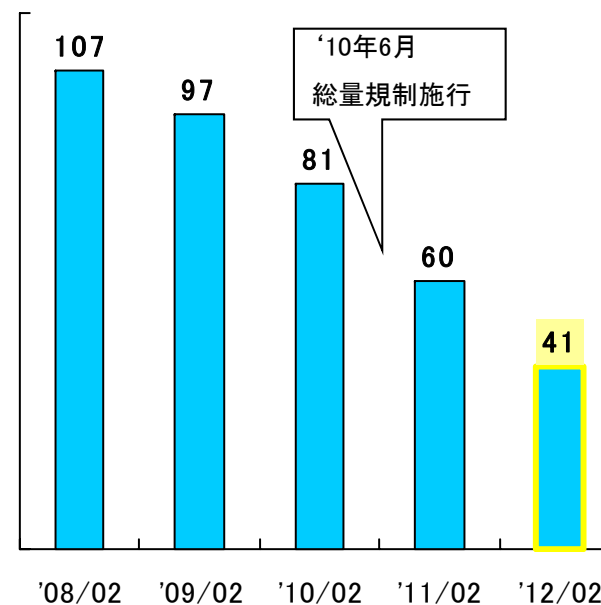
融資残高推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



融資営業収益推移

(金額：億円/Hundred millions of yen)



9. その他

その他の営業収益

(金額：百万円/Millions of yen)

商品・サービス	2011/02	2012/02	前年増減率
保険	1,400	1,492	+ 6.6%
リース	90	98	+ 8.5%
旅行	38	35	△ 6.9%
WEB	30	31	+ 0.7%
合計	1,559	1,656	+ 6.3%

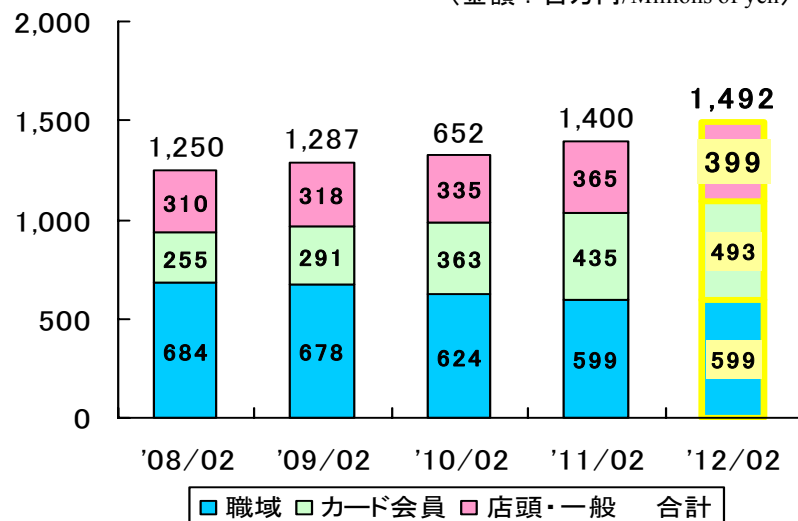
保険事業

保険代理店事業を中心に堅調に推移。

- ・カード会員向けテレマーケティングの推進
- ・保険ショップの営業力強化

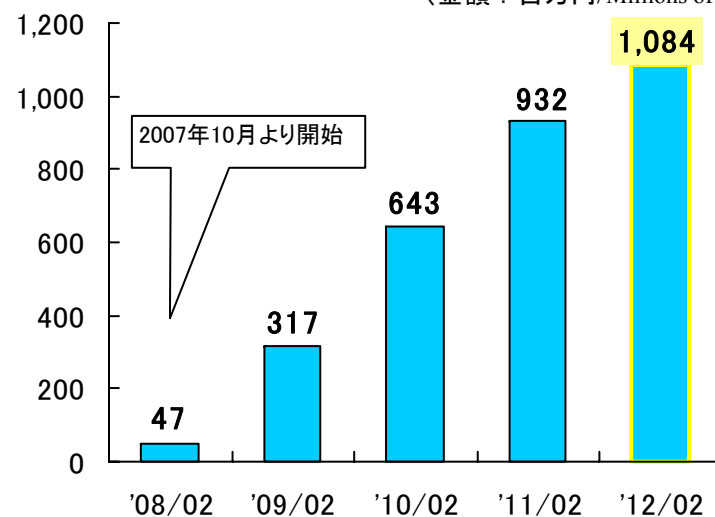
保険チャネル別営業収益

(金額：百万円/Millions of yen)



ぱいん貯モール(WEB)取扱高推移

(金額：百万円/Millions of yen)



10. 貸倒償却および引当金繰入

貸倒引当金繰入

- ・ 与信の厳格化と債権管理体制の強化により、大幅に改善。

利息返還損失引当金繰入

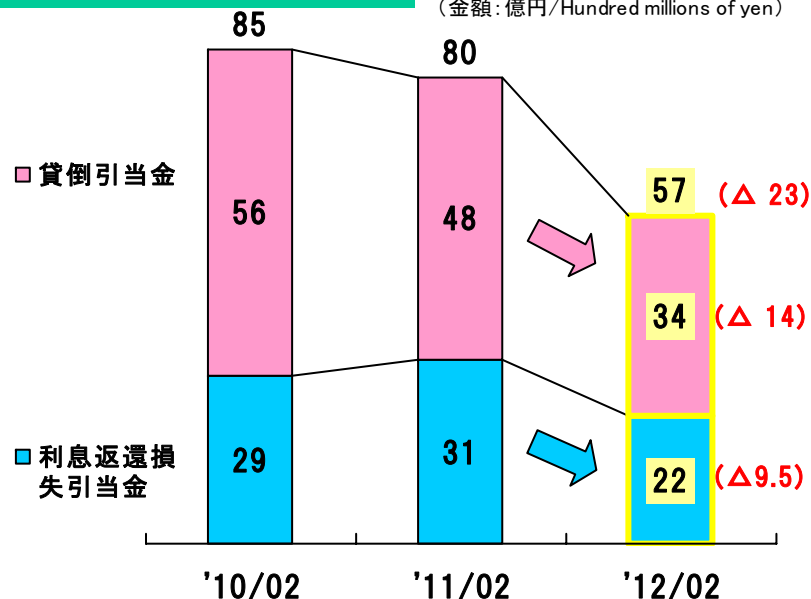
- ・ 弁護士介入件数および返還請求額は減少。

(金額：億円/Hundred millions of yen)

		2010/02	2011/02	2012/02
貸倒引当金繰入額	引当金繰入	5	△7	△14
	償却	23	28	16
	計	29	20	2.5
利息返還損失引当金繰入額	引当金繰入	3	2	△9.5
	償却	16	17	16
	計	20	19	6.5
合計		49	40	9.0

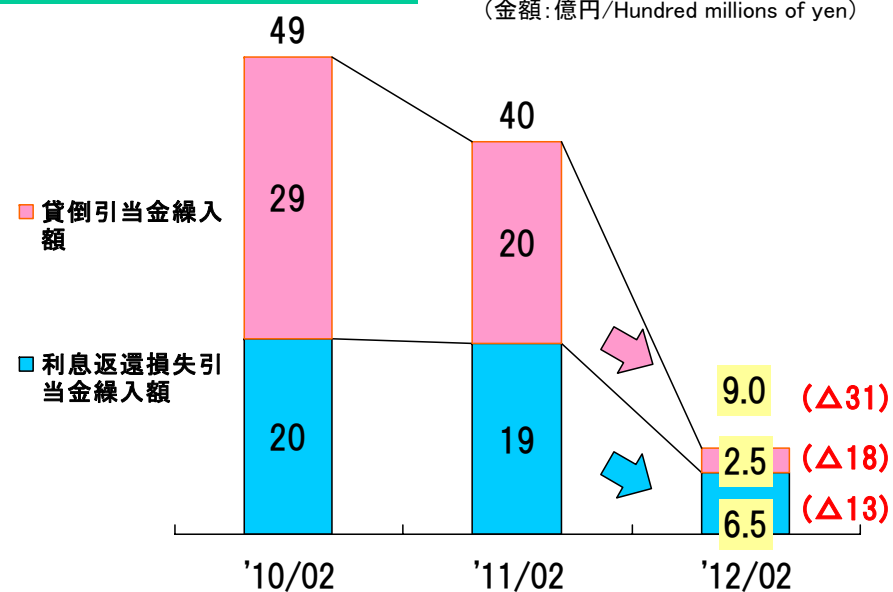
引当金残高

(金額：億円/Hundred millions of yen)



繰入額

(金額：億円/Hundred millions of yen)



1 1. 資金調達

借入金合計 605億円（前期末比 △45億円）

長期調達比率は、92.8%。
平均調達金利は、1.53%。

（金額：億円/Hundred millions of yen）

	前期末 (2011年2月期)	当期末 (2012年2月期)	増減
短期借入金	41	43	+ 2
長期借入金	519	471	△ 47
債権流動化（長期）	90	90	± 0
借入金合計	650	605	△ 45
長期調達比率	93.6%	92.8%	△ 0.8%
平均調達金利	1.57%	1.53%	△0.03%

Ⅱ 中期経営計画と 2013年2月期の取り組み

(2012/3/1～2013/2/28)

1. 今後の市場環境と当社の現状認識

1.市場環境

- ショッピングは、ネットショッピングや、利用領域の拡大などで今後も堅調に推移。
- 貸金市場は、総量規制の影響や競争激化により、当面縮小。
- 過払返還請求は、収束化の方向で進行。
- 保険代理店事業は、料率の引下げ、異業種チャネルの参入により競争が激化。

2.当社の現状認識

- 融資収益の減少により、営業収益が4期連続で減少。
- 与信の厳格化、債権管理体制の強化により、債権の良質化が進行中。
- 貸倒関連費用の減少により、2期連続で増益。
- 業法(貸金業法、割賦販売法)へのシステム対応、運用体制の取組が完了。

2. 中期経営計画

中期経営方針

「**確固たる増収増益体質の確立**」

そのための3つの確立

増収基調の確立

既存事業の拡大と新規事業へのチャレンジ

バランスのとれた収益構造の確立

ショッピングを中心とした収益構造に変革

ローコスト経営の確立

さらなる貸倒関連費用の削減
業務効率化による生産性の向上

3. 営業収益拡大

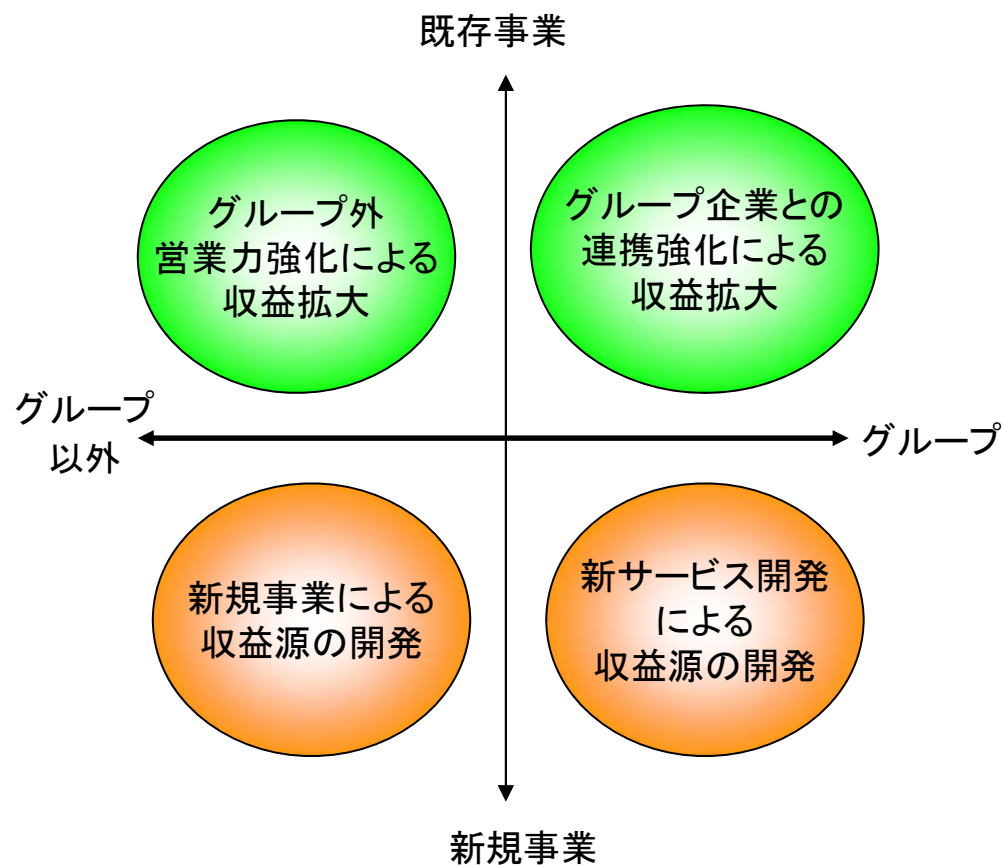
- ◆ 既存事業の拡大と、新規事業へのチャレンジにより、収益の拡大と多様化を目指す。

既存事業

- ✓ ユニグループの連携強化。
会員獲得、営業企画強化
- ✓ グループ外営業力の強化
加盟店開発、相互送客

新規事業

- ✓ 新サービスの開発
ポイント制度のリニューアル
- ✓ 新規事業の早期立ち上げ
WEB、新決済サービスの検討

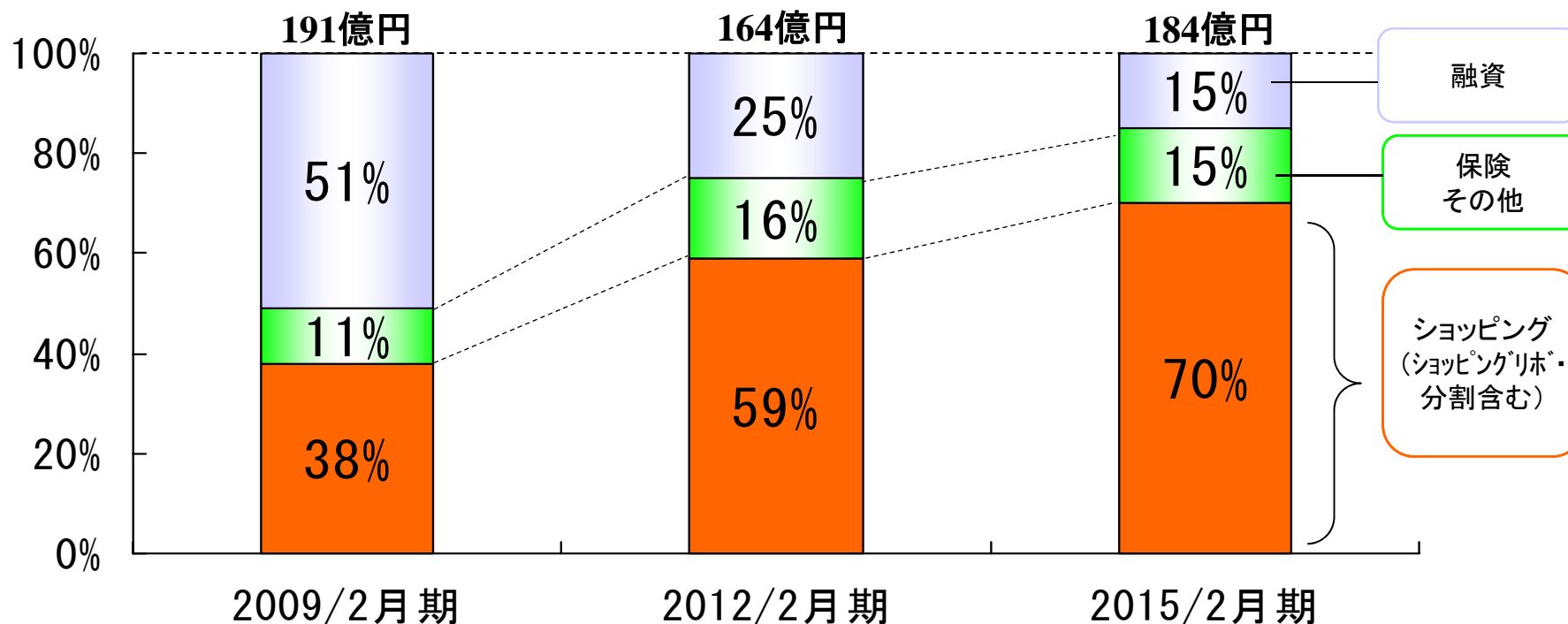


4. 収益構造

◆ 融資に偏った収益構造から、ショッピングを中心とした収益構造を確立

融資は、適正な与信管理のもと着実に利益を上げる構造へ。
保険は、安定的な収益の確保を目指す。

営業収益 構成比



✓ 国内の決済手段は、依然として現金決済の割合が高いため、カードの利便性、特典を訴求することで、ショッピング分野は、今後も成長が可能。

5. ローコスト経営

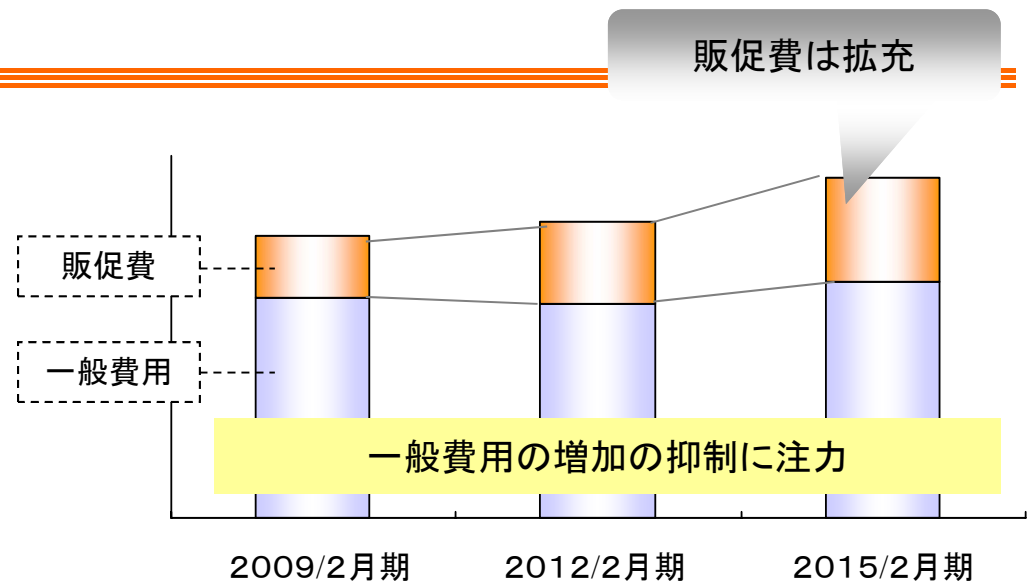
◆ 業務の効率化と生産性の向上

【変動費の増加抑制】

- ✓ WEB明細の推進
- ✓ 郵送物のハガキ化

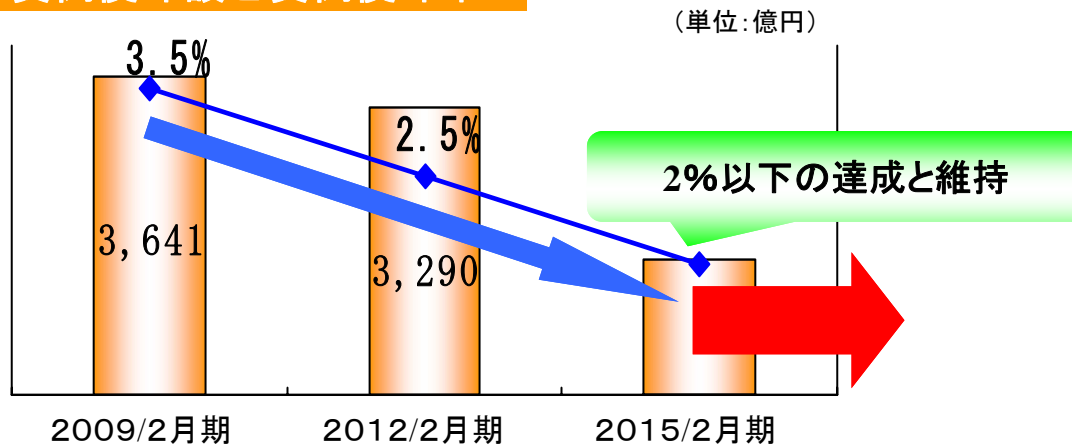
【事務コストの削減】

- ✓ システム化による省力化
- ✓ 一人多役の人員体制



◆ 貸倒関連費用のさらなる削減

貸倒償却額と貸倒償却率



※ 償却額 = 通常貸倒償却額 + 過払返還償却額

※ 償却率 = 償却額 ÷ 期首売掛金残高

【現状の貸倒関連費用の削減】




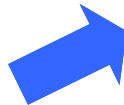


- ✓ 貸倒償却額の削減
- ✓ 引当金からの経費戻し
引当金戻しの要素が大きい。

【2015年2月期 目標】

- ✓ 貸倒償却率 2%以下
- ✓ 長期延滞債権比率 3%台

※ 長期延滞 … 90日以上の延滞債権

6. 中期数値目標

	2012/2月期		2015/2月期
ショッピング取扱高	4,435億円		5,800億円以上
ショッピングリホ +分割残高	203億円		250億円以上
WEB会員数	36万人		70万人以上
保険ショップ数	33店舗		40店舗以上
償却率	3.2%		2%以下
※ (貸倒償却額+過払返還償却額)÷期首売掛金残高			
延滞債権比率	5.5%		3%台
※ 延滞債権残高÷期末売掛金残高			

7. カードショッピング

基本方針

●ファーストカード化の推進

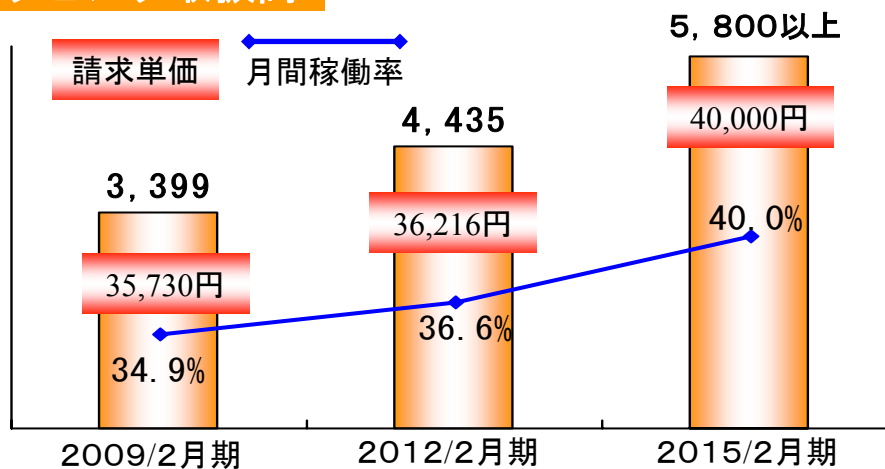
●稼働率・請求単価のUP

2013/2月期の取組み

- ✓ ポイント制度の見直し → 交換率UPとユニーと連携したメーカーボーナスポイントの導入
- ✓ オンデマンド広告機能の拡充 → 会員特性に応じた利用促進策の展開
- ✓ 会員獲得は量より質を重視 → 店頭チャネルを最大限活用した利用提案と新規利用促進施策の展開

ショッピング取扱高

(単位: 億円)



【2015年2月期 目標】

- ◆ ショッピング取扱高
毎期約10%の伸長率
- ◆ 稼働率
40%
- ◆ 請求単価
40,000円

8. ショッピングリボ・分割、および融資

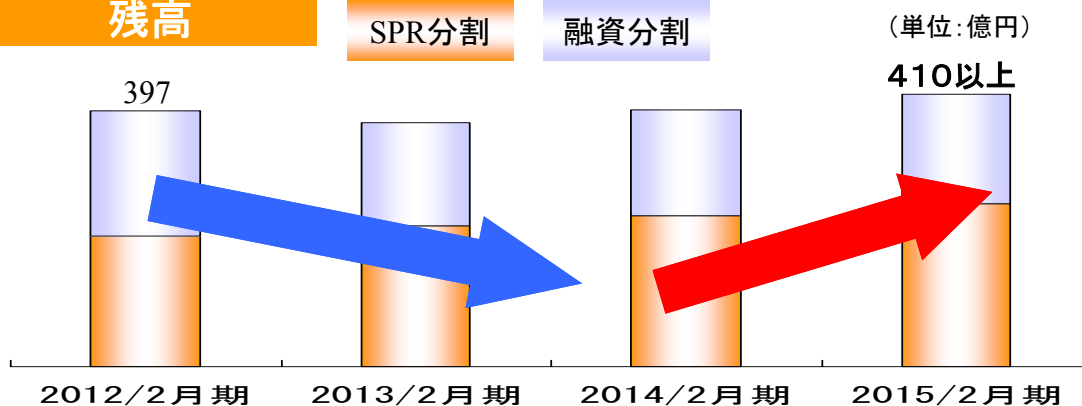
基本方針

- 融資残高減少を抑止し、ショッピングリボ・分割(以下SPR分割)を推進
- 適正なリスク管理のもと、適正な利益を確保

2013/2月期の取組み

- ✓ 新規利用者の開拓 → わかりやすい商品説明による利用啓蒙と、キャンペーン展開により新規利用を促進
- ✓ サービスの向上 → お客様の要望にきめ細かく対応できる体制の整備
- ✓ 与信管理の最適化 → 正確な情報に基づき、お客様一人一人に最適な与信枠を設定

残高



【2015年2月期 目標】

- ◆ SPR分割残高
250億円以上
- ◆ 融資残高
160億円以上
2014/2月期中の下げ止め

9. 保険代理店事業

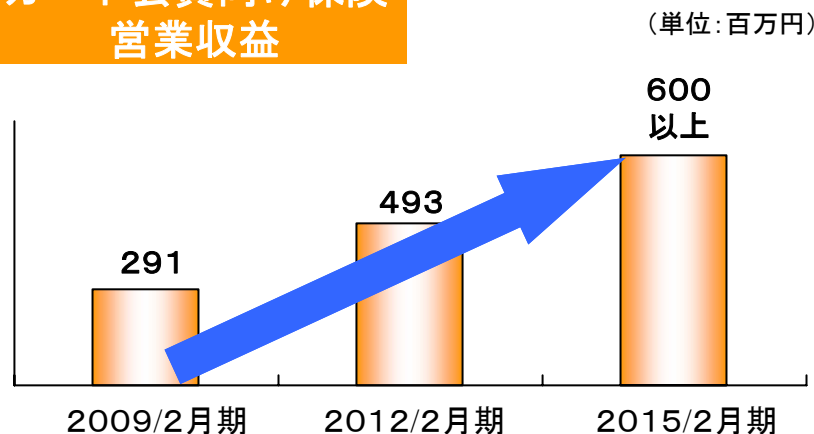
基本方針

- カード会員向け保険と保険ショップ事業の営業力を強化

2013/2月期の取組み

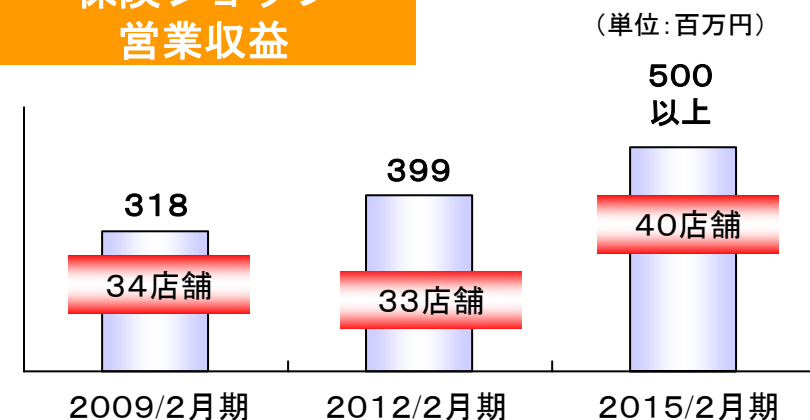
- ✓ カード会員向けのテレマーケティング活動を高度化し、提案型保険販売を展開
- ✓ 保険ショップの出店形態を多様化し、営業力・収益力を強化

カード会員向け保険 営業収益



- ✓ 商品販売から、お客様のライフプランに応じた最適な商品を提案する提案型販売へ。

保険ショップ 営業収益



- ✓ 店舗数 40店舗以上
- ✓ 地域特性に合わせた形態で出店

10. WEB事業の育成

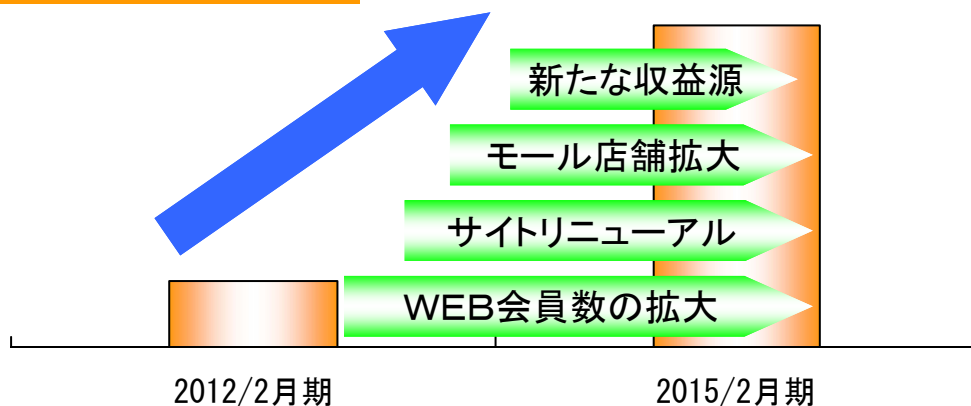
基本方針

- ◆ 営業収益拡大とコスト削減の両面で重要なチャネルと認識し、
会員サイトのサービス拡充と、新たな収益源の開発に向けて展開

2013/2月期の取組み

- ✓ WEBショッピングモールのリニューアルによる取扱高の拡大
- ✓ WEB会員サイトのリニューアルによる、利用者の増加と事務コストの削減
- ✓ 簡単登録機能の追加による、WEB会員数の拡大

WEB営業収益



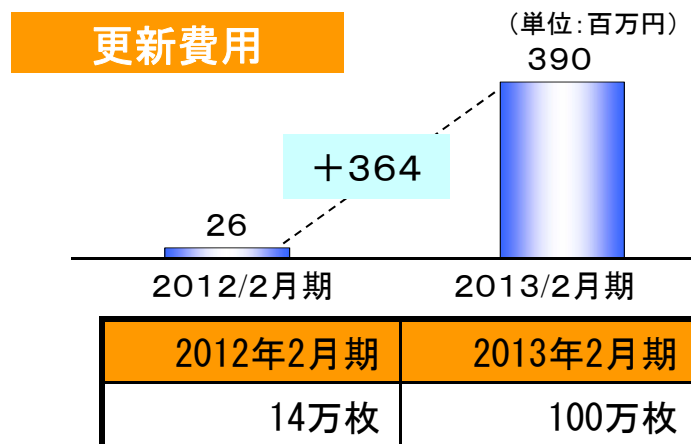
【2015年2月期 目標】

- ◆WEB会員数
70万人以上
(2012年2月期 36万人)
- ◆WEBショッピングモール取扱高
40億円以上

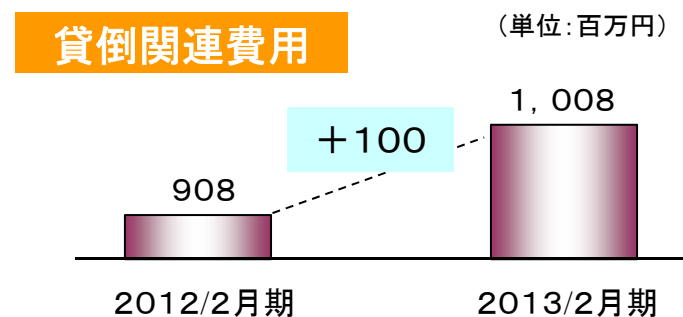
1 1 . 2013年2月期の営業費用

	2012/2月期	2013/2月期	前年差異
営業費用計画	131億円	136億円	+5億円

- ◆ 固定費は、減価償却費、支払利息等の費用を圧縮。
- ◆ 2013/2月期より、更新カード枚数がピークを向かえ、事務処理費用が増加
- ◆ 貸倒関連費用は、引当金繰戻し額の減少により前年比増加



【更新費用を抑制するための対応】
 ✓ 長期未利用会員の更新を保留し更新費用の削減を図る。



【貸倒関連費用について】
 ✓ 2012/2月期は、過払返還引当金の見直しにより、大幅に経費戻しが発生。2013/2月期は、前年比増加を見込む。

1 2. 2013年2月期業績予想と中期目標

		2013年2月期 予想	前期比 増減率	2015年2月期 目標
営業収益 Operating revenues	億円	165	+ 0.5%	184
営業利益 Operating income	億円	28	△ 13.1%	35
経常利益 Ordinary income	億円	28	△ 13.3%	35
当期純利益 Net income	億円	16	△ 3.5%	21
経常利益率 Ordinary income ratio	%	17.0%	△ 2.7%	19.0%